

Chaconne Ex を Dorico で利用するにあたって

※Dorico SE/Elements/Pro 3～5 を対象とします。

フォントを Chaconne Ex に置き換える

音楽フォントを変更する (SE/Elements/Pro)

「音楽フォント」ダイアログを開き「Chaconne Ex」を選択します。このとき「フォントのおすすめの浄書オプションを使用」にチェックを入れると、Chaconne Ex が持つ浄書オプション（五線や小節線、符尾の太さなど）がインポートされます。

※「音楽フォント」ダイアログを開くには、Dorico Pro/Elements/SE 4、5 はメニューバーの「ライブラリー」メニューから「音楽フォント」を選択します。Dorico Pro 3 はメニューバーの「浄書」から「音楽フォント」を、Dorico Elements/SE 3 はメニューバーの「編集」から「音楽フォント」を選択します。

フォントスタイルの音楽テキスト用フォントを変更する (Elements 5/Pro)

「フォントスタイルを編集」ダイアログを開き、「デフォルトの音楽テキスト用フォント」の「フォントファミリー」を「Chaconne Ex Text」に設定します。

※「フォントスタイルを編集」ダイアログを開くには、Dorico Pro 4、5 および Dorico Elements 5 はメニューバーの「ライブラリー」から「フォントスタイル」を選択します。Dorico Pro 3 はメニューバーの「浄書」から「フォントスタイル」を選択します。

文字スタイルの音楽テキストフォントを変更する (Elements 5/Pro)

「文字スタイル」ダイアログを開き、「音楽テキスト」の「フォント」を「Chaconne Ex Text」に設定します。

※正常に切り替わらない現象を確認しています。その場合は一度ファイルを保存し Dorico を再起動してください。

※「文字スタイル」ダイアログを開くには、Dorico Pro 4、5 および Dorico Elements 5 はメニューバーの「ライブラリー」から「文字スタイル」を選択します。Dorico Pro 3 はメニューバーの「浄書」から「文字スタイル」を選択します。

各種設定

上記の設定だけでは一部のキャラクタが適切なサイズで表示されない、Chaconne Ex に置き換わらないといった問題があります。より高品位な表現を行うために、以下の設定を参考にしてください。

メトロノーム音楽テキスト用フォント (Elements 5/Pro)

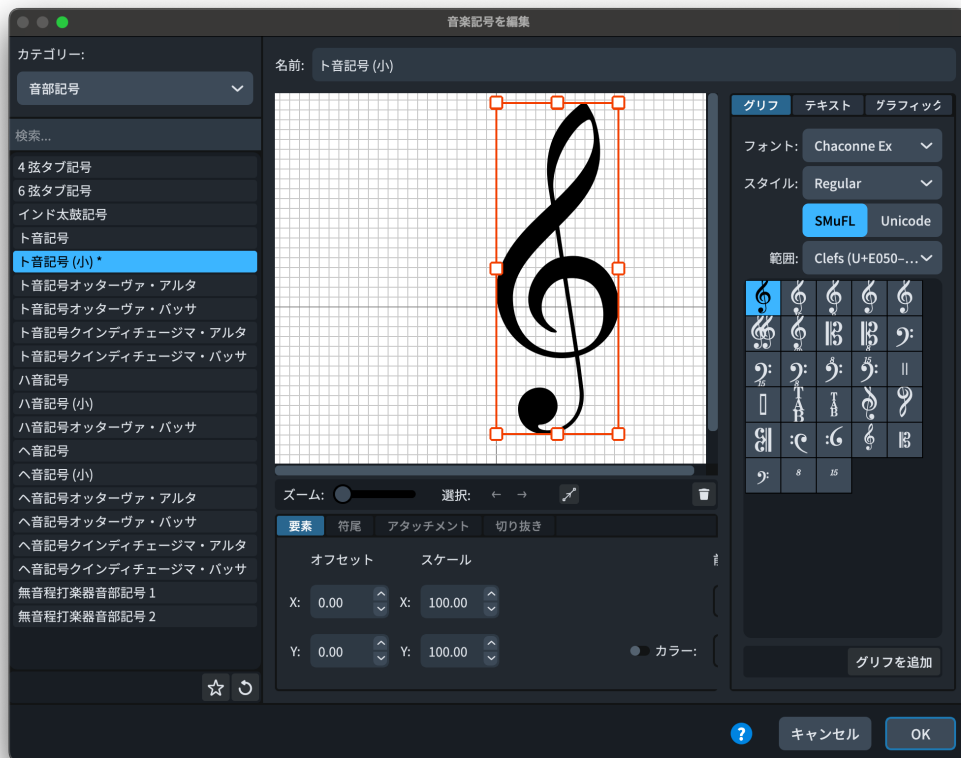
「メトロノーム音楽テキスト用」とはメトロノーム記号の音符の部分のことで、デフォルト値のままだと大きすぎます。Chaconne Ex Text は「即時テンポテキスト用フォント」と同じサイズにしたときにバランスがよくなるように設計されていますので、「フォントスタイルを編集」ダイアログから調整してください。

リピート括弧のフォント (Elements 5/Pro)

Chaconne Ex は通常の ASCII 文字にも数字を収録していますので、「フォントスタイルを編集」から「リピート括弧のフォント」を Chaconne Ex に設定することができます。

小さな音部記号 (Pro)

音楽フォントを変更しても、縮尺によっては段途中の小さな音部記号に Dorico デフォルトフォントの Bravura が使われたままとなるため、「音楽記号を編集」ダイアログから変更します。



もとあるグリフをゴミ箱ボタンで削除し、Chaconne Ex のグリフを追加します。「ト音記号 (小)」は U+E050、「ハ音記号 (小)」は U+E05C、「ヘ音記号 (小)」は U+E062 を使用してください。

※「音楽記号を編集」ダイアログを開くには、メニューバーの「ライブラリー」(Dorico Pro 3 は「浄書」) から「音楽記号」を選択します。

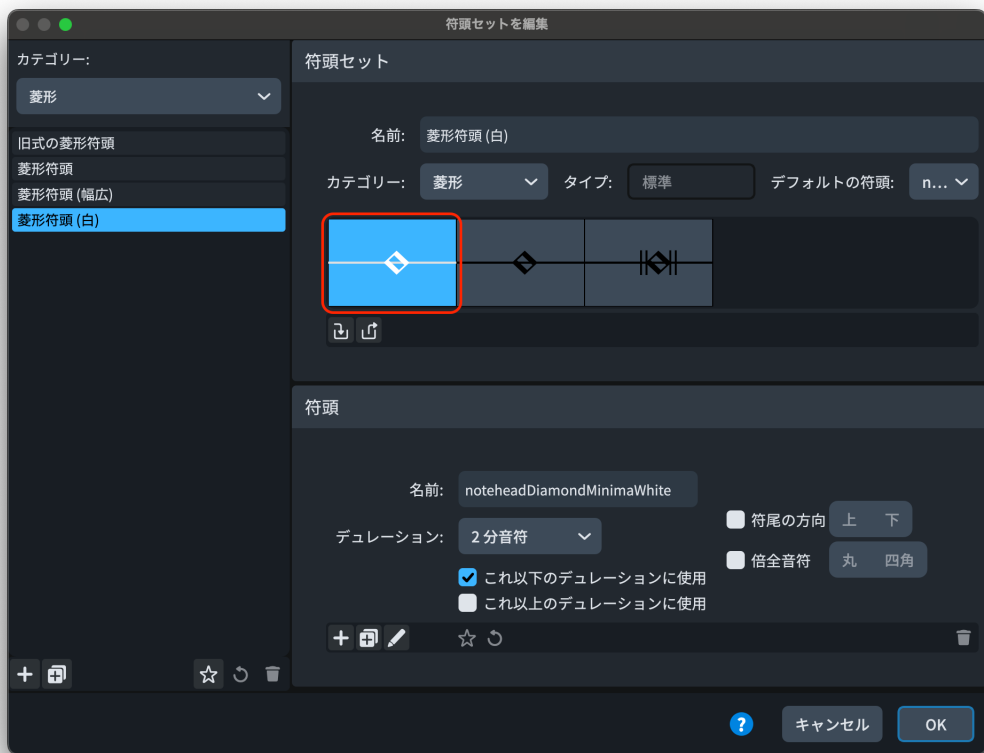
ハーモニクスの菱形符頭 (Pro)

Dorico では SMuFL フォントが持つハーモニクスの菱形符頭と符尾の接続位置の情報が無視されてしまうため、上向きの音符ではずれてしまいます：

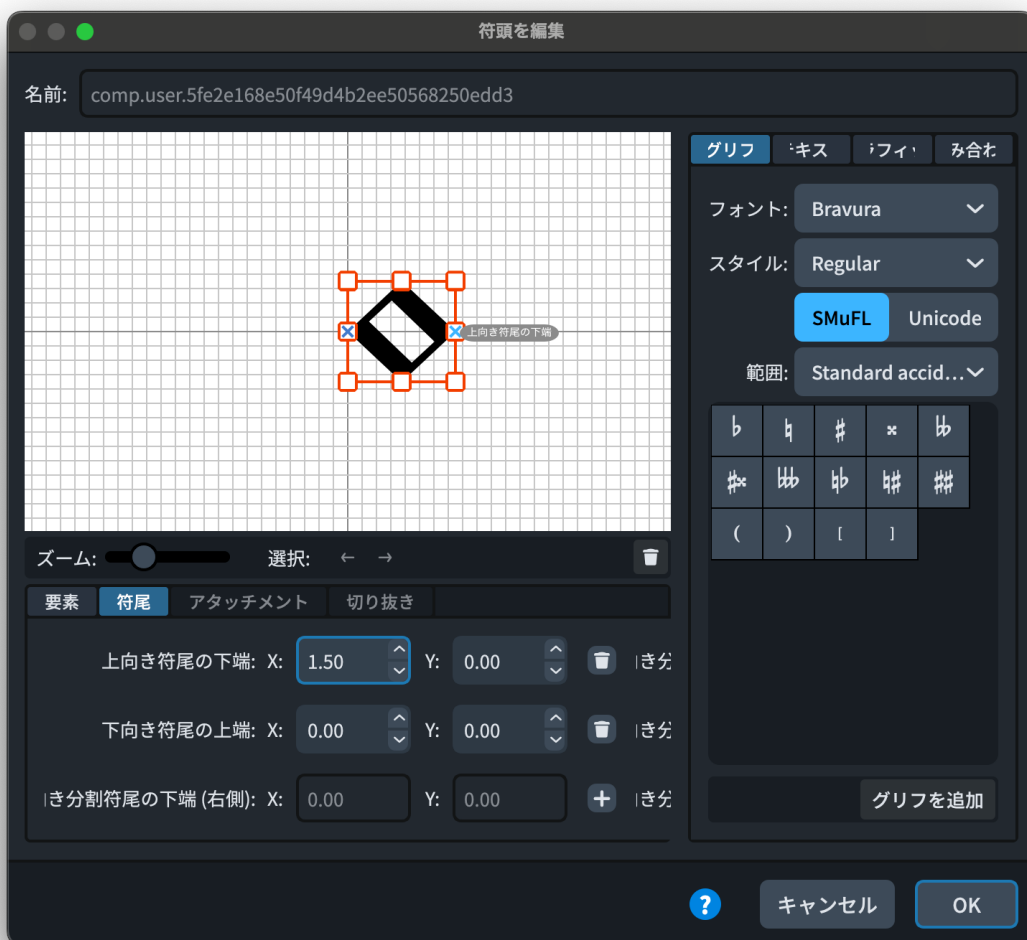


「符頭セットを編集」ダイアログから修正することができます。

「菱形」カテゴリにある「菱形符頭 (白)」を選択し、図の赤で囲った部分をダブルクリックすると「符頭を編集」ダイアログが開きます。：



「符頭を編集」ダイアログで「符尾」タブを開き、「上向き符尾の下端：X」を「1.50」に設定します：



修正できました：



※ 「符頭セットを編集」ダイアログを開くには、メニューバーの「ライブラリー」（Dorico Pro 3は「浄書」）から「符頭セット」を「選択します。

ライブラリーファイル (Pro 4、5)

上記「フォントを Chaconne Ex に置き換える」「各種設定」の設定をすべて反映し、さらに浄書オプションを日本の出版譜の様式に近くなるよう設定を施した「ライブラリーファイル」を用意しました。

「ライブラリーマネージャー」のユーザーライブラリー (①) から「Chaconne Ex.doricolib」を選択 (②)、「浄書オプション」の右隣の「≠」 (③) と「コレクション」の右隣の「≠」 (④) をクリックし適用すると設定が読み込まれます。読み込む項目は必要に応じて選択してください。



※ 「ライブラリーマネージャー」ダイアログを開くには、メニューバーの「ライブラリー」から「ライブラリーマネージャー」を選択します。